

令和7年度 内閣府 委託事業

沖縄におけるこどものウェルビーイング実現に 向けた政策研究推進体制の在り方 調査・検討事業

報告書(概要版)

MRI エム・アール・アイリサーチアソシエイツ

2026年3月

本調査・検討結果の概要

(1) 協議体の実施

沖縄におけるこどものウェルビーイングの向上を目指し、そのための研究を推進するための体制・機能や政策実装について、国および沖縄県内外の関係者により構成する協議体を設置し、調査・検討を実施した。

協議体構成員は、関係省庁、沖縄県庁及び市町村、琉球大学、沖縄県内及び県外の教育・保健医療・福祉分野の研究者や実務に携わる者とし、以下の日程で全5回実施した。

- 第1回 令和7年6月25日
- 第2回 令和7年8月29日
- 第3回 令和7年10月27日
- 第4回 令和7年12月12日
- 第5回 令和8年2月16日

(2) 研究テーマの体系化、具体的アプローチ例の整理

沖縄の特徴、問題を踏まえるとともに、教育・保健医療・福祉等の全国的な研究動向も踏まえて、沖縄において研究が必要なテーマについて検討し、研究テーマの体系化を行った。

また、研究テーマごとに具体的なアプローチ例を整理した。

(3) 沖縄のこどもにとって大切なこと

協議体では、こどものウェルビーイングのために「沖縄のこどもにとって大切なこと」を検討することの必要性が議論され、こども・若者(本人)の要素と、環境要因(本人以外)の要素があることを確認した。

沖縄のこどもにとって大切なこと		その他の大切な観点
こども・若者(本人)	環境要因(本人以外)	
・自尊心・自己肯定感・自分らしさ ・こころの問題 ・体験 ・将来への希望・夢 ・学ぶ楽しさ、学力 ・こどもの人権	・家庭・妊婦・親の状態 ・学校・保育、自治体の役割※1 ・地域・コミュニティの形成 ・相談する/応援してくれる人 ・貧困対策※2 ・安心・安全 ・沖縄独自の文化※3	・貧困対策を中心に、すべてのこども対象(ポピュレーションアプローチ) ・沖縄県内の好事例の展開(ポジティブ・デビアンس) ・データの利活用によるPDCAサイクル

※1 プレコンセプションケア(妊娠や性感染症の正しい知識の教育・普及啓発等)等を含む

※2 学校・家庭以外のこどもの居場所等(ユースセンター等の若者の居場所を含む)

※3 人と人のつながりを大切にする文化、家族や地域で応援する文化等

(4) 今後の検討課題

今年度の検討結果を踏まえ次年度以降は下記の内容を実施することが考えられる。

- 沖縄のこどもにとって大切なことの内容についての継続的な検討
- 沖縄の特徴の調査による研究テーマの選定・深掘り
- 人材育成・研修の検討
- 政策実装に向けた対応

沖縄のこどもを取り巻く問題の背景

- 沖縄のこどもを取り巻く問題の背景には、沖縄特有の歴史・文化的、地理的、経済的、人口動態的な課題がある。この特殊性を鑑み、こどものウェルビーイング研究と社会実装の仕組構築が必要である。

歴史的・文化的要因

- ・楽観的、柔軟な考え方
- ・戦後の米国統治下の影響が残存
- ・デジタル化やインターネットの普及

地理的要因

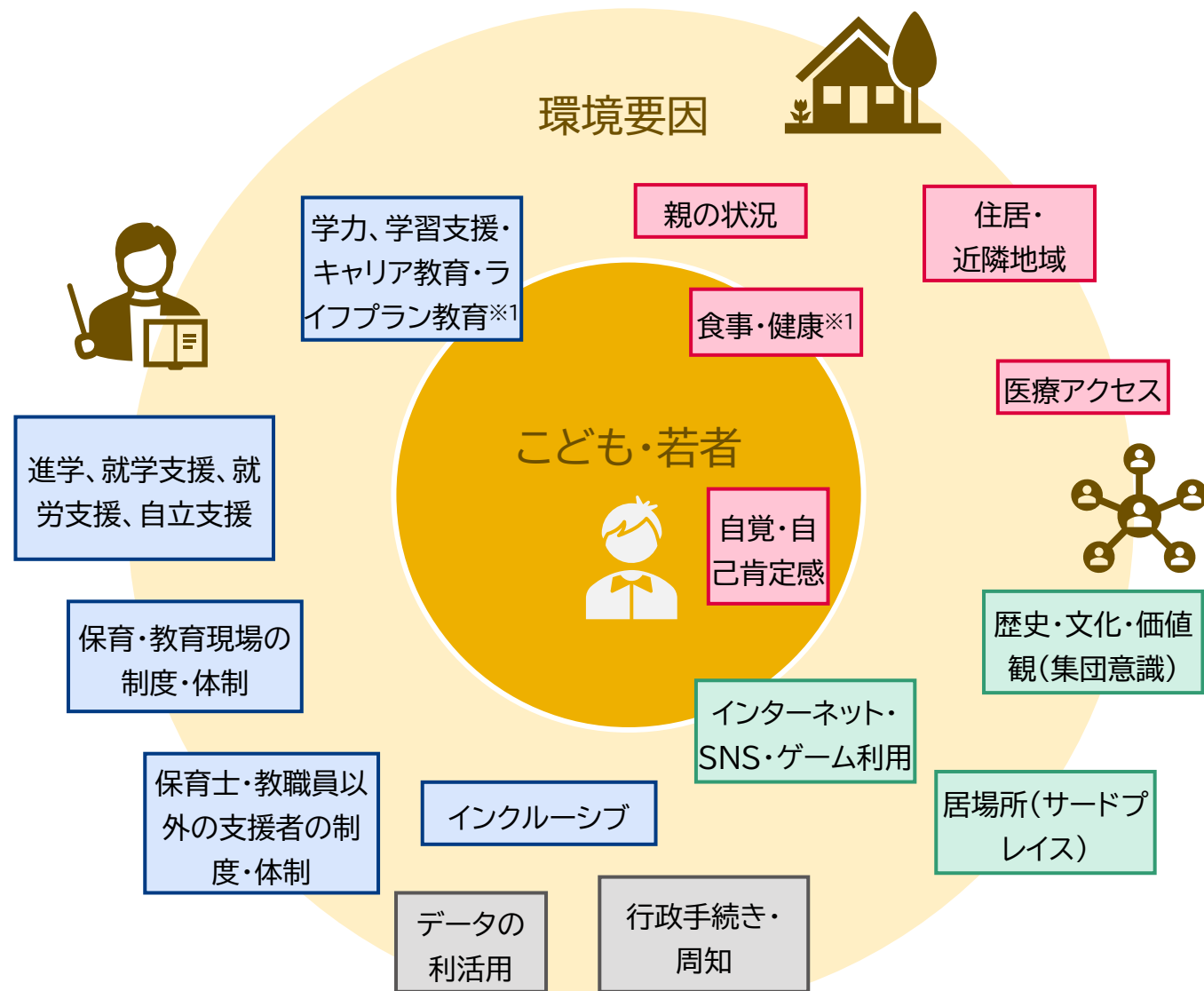
- ・地域コミュニティ、地域文化が残る
- ・進学のために島を離れる必要

経済的要因

- ・収入が低い
- ・製造業が少ないなどの産業構造のため就業先が限られる

人口動態的要因

- ・高い出産率
- ・低い初産年齢
- ・高い離婚率



課題	
	家庭
	学校・医療福祉施設
	地域社会
	その他
	背景要因

※1 プレコンセプションケア(妊娠や性感染症の正しい知識の教育・普及啓発等)等を含む

沖縄のこどもに関する課題の整理

- 沖縄のこどもの課題について、「家庭」、「学校・医療福祉施設」、「地域社会」の3つの分類に整理した。

※ 課題を分類する場合には、複合的なものも含まれる(例:家庭環境に起因する学校での課題等)が、ここでは課題の主たる対象を基準に便宜的に分類した。

➤ 課題の分類と考えられる課題

家庭

- 食事・健康
- 医療アクセス
- 親の状況
(離婚・ストレス・虐待・ネグレクト・経済状況・就労状況・無関心)
- 住居・近隣地域
- 自覚・自己肯定感

- ・ 低所得層に対する食育や運動の推進・支援
- ・ 受診抑制を減らすための医療政策課による計画との整合性や小児科医の確保の充実
- ・ ひとり親家庭や経済的な困窮家庭における親のダブルワーク・トリプルワークの解消方法の必要性
- ・ 家事援助ヘルパーやアウトリーチ型の家庭相談の充実等、低所得世帯が頼れる相手の検討
- ・ 経済状況での格差が生じずコミュニティの活性化にもつながる地域イベントの各地域での開催・参加促進による体験・経験の地域間格差の解消の必要性
- ・ 貧困状態や虐待やヤングケアラーに関するこどもの自覚の必要性についての検討、(親子への)こどもの権利の周知

学校・医療福祉施設

- 学力、学習支援・キャリア教育・ライフプラン教育
- 進学・就学支援・就労支援・自立支援
- インクルーシブ(障害・病気・外国人等の受入態勢)
- 保育・教育現場の制度・体制
- 保育士・教職員以外の支援者の制度・体制

- ・ 発達段階に応じた学校等でのキャリア教育や職業観の育成、就労意識の向上に資する方法の検討および実行
- ・ 困難や課題を抱えるこどもの様々な背景・要因が重なり複雑化している場合の専門的なアセスメントやケア・支援、親への包括的な支援
- ・ 進路未決定や中途退学に繋がる複合的な背景をもつ生徒に対する、早期段階での積極的なアウトリーチによる支援の必要性
- ・ 発達障害や発達が気になるこどもに対する発達段階に応じた高い教育・保育を提供できる体制整備
- ・ 教職員の多忙化・過負担による疲弊への対策
- ・ コミュニティソーシャルワーカー、ファミリーサポートセンター等自治体を基盤とした家庭支援の拡充・周知の徹底

地域社会

- 居場所(サードプレイス)(学童・こども食堂等)
- 歴史・文化・価値観(集団意識)
- インターネット・SNS・ゲーム利用

- ・ 居場所を失う可能性のあるこどもへの就学時前からの予防と既に居場所を失い問題が複雑化した中高生へのアプローチの強化に関する方法の必要性
- ・ 親の状況や親の価値観の刷り込み(早婚・若年出産等)に対して物事を適切に判断する力の低学年からの涵養
- ・ こどもの居場所の運営支援の継続・発展等により「体験格差」を埋めるなど低所得層であっても将来の選択肢を狭めない時間の使い方ができる施策の必要性

沖縄のこどものウェルビーイング向上のために考えられる研究テーマ例(1)

- 沖縄のこどものウェルビーイング向上のために考えられる研究テーマを整理し、それを実施するための具体的なアプローチの例となる構成員からの意見を抽出した。

研究テーマ	具体的アプローチ例(抜粋)
支援機関間の効果的な連携方策に関する研究	● 沖縄県内における各市町村へのアンケート(こどものウェルビーイングに関連する自治体の部課や団体の一覧作成、自治体好事例の収集) ● 福祉人材の確保のための、大学・専門学校・施設で協力したこどもを支える土台の作り方の検討 ● 沖縄県内における学校と地域をつなぐツール(スクリーニング等)の活用検討
困っている層のサポートの仕方の改善方策に関する研究	● こどもと大人の考えるウェルビーイングのギャップに関する研究 ● 児童虐待、ACE、社会的養護およびその経験者に関する調査 ● 小規模離島のこどもの背景分析、支援の検討 ● 居場所に関するアンケート調査(居場所にどのような機能があるか、こどもがどのように過ごしているかなど) ● 親がこどもにどのように関わればこどもの自己肯定感を高めることができるかの調査 ● こどものライフコースに沿った課題と必要人材の整理 ● 非行に走ったこどもを対象に限定したアンケート調査 ● プレコンセプションケアに関わる調査 ● 沖縄の教育水準向上や学ぶ楽しさ・自尊心をはぐくむための効果的な方策の調査・実証 ● 離島における絵本の読み聞かせの効果の調査
こどもの声の把握、対応の方策に関する研究	● こどもの意見やデータをどう収集・活用するかに加え、こどもに効果を実感してもらう・結果をフィードバックするための方法の検討 ● こどもが意見を聴いてもらう体験をするための環境づくりの検討
バイオ・サイコ・ソーシャルにまたがる課題構造の実態分析	● 健康長寿や生活習慣に関するこどものデータ分析 ● 小児救急についての状況の把握および対応の検討
中学卒業後のこども・若者の課題把握対策のための研究	● 今困難な状況にある若者がどういうこども時代を送ってきたかというライフコースに関する調査
こどもが大人になるまでの発達過程の長期的なウェルビーイングの変化や要因、キャリア形成のあり方の研究	● 就業体験機会の提供方法の検討
こどもに関わる大人のウェルビーイング向上方策の研究	● 幸福を感じていない親に対するヒアリング調査 ● 沖縄のシングルマザーへのアンケート調査及び前向きな回答があった者へのインタビュー調査 ● 沖縄の大人にこどもに関わるゆとりがあるのかに関する調査 ● こどもに関わる大人のウェルビーイング向上に向けた調査(教育・保育分野の実態調査等) ● 教師の幸福度についてのデータ分析や先行研究調査 ● ひとり親家庭における養育費に関する調査 ● 5歳児健診の実施による小学校入学後の教師の負担軽減についての調査・実証

沖縄のこどものウェルビーイング向上のために考えられる研究テーマ例(2)

- 沖縄のこどものウェルビーイング向上のために考えられる研究テーマを整理し、それを実施するための具体的なアプローチの例となる構成員からの意見を抽出した。

研究テーマ	具体的アプローチ例(抜粋)
沖縄のこどもに関わる社会文化的特徴の研究	● アンケートで幸福だと答えた沖縄のこどもに対する詳細のヒアリング調査 ● アンケートで自分に自信があると答えた沖縄のこどもに対する詳細のヒアリング調査 ● 離島のこどもの幸福度の高さ、島立後の他者評価に関する調査 ● 主観的要素だけではなく、教育や雇用、賃金といった社会の状況に踏み込んだアンケート調査の実施
沖縄のこどものウェルビーイングの定点把握	● こどもに関連したデータの適切な収集・統合的な活用、データの連携や連結方法に関する研究 ● どの施策がこどものウェルビーイングにつながったのか比較するため、全県で共通した項目の設定を行ったうえでの、定点調査としてデータ蓄積・比較検討
沖縄のこどものウェルビーイングの指標体系の作成	● 様々なこどもたちの意見・沖縄県の意見についてのWantsとNeedsの整理 ● 健康指標(受診率向上による病気の早期発見・早期治療)がこどものウェルビーイングに与える影響の検討
政策の効果、政策の評価のための研究	● 統計データや定点観測的なデータに基づいた沖縄県におけるこどもの関連施策の立案・評価の検討
他県との比較、県内地域間比較のできるデータ	● 沖縄県内や全国と比較可能な共通のデータや指標による客観分析・評価調査 ● 複数地域での比較、支援を受けた人と受けていない人の差異を見るといったデータに基づく検討 ● 全国調査のうち三大都市圏を除外したデータと沖縄県のデータの比較調査
民間主体によるこどものウェルビーイング向上への貢献手法の可能性、効果的な手法に関する研究	● 沖縄の社会課題に取り組むこどもたちを育成するスクール(中学・高校の出席扱い)の開催 ● 学外で自由な発想をぶつけ合い、自分で考えた課題に取り組むユースセンターの運営実証研究 ● 民間企業による公教育支援の在り方の検討
ネット社会の影響と対策に関する研究	● デジタル環境の影響に関する調査
こどものウェルビーイングに資する研究動向サーベイと情報提供、研究戦略の立案のための研究	● こども分野に関する沖縄県内若手研究者の確保・育成

研究体制及び機能

- 政策研究を現場で生かすための機能を整理した。中心となる機能としては、「沖縄のこどものWB」を定義する機能、調査研究機能、こどもの声を聴く機能が考えられる。その他の機能として、研究テーマに応じて随時追加で設定する機能が必要と考えられる。

